



# 図書だより

令和元年11月  
八尾高校図書館  
24H 村上・佐藤

皆さんこんにちは。今年も残り2ヶ月となりました。残り僅かとなった今年を、悔いの残らないように満喫していきましょう。寒さが厳しくなってきた今日この頃、普段は本を読まない人で

も、暖かい部屋でページが少ない短編小説をゆっくり読んでみてはどうでしょうか。

## 「短編集」特集 第2弾！

### 「夢い羊たちの祝宴」

米澤穂信 新潮社

この本には、約50ページの短編小説が五つ収められています。これらの物語の共通点は、(1)必ず殺人などの不可解で奇妙な事件が起きること、(2)主人公が裕福な家に引き取られ、その家の子供の身の回りの世話をするようになること、(3)その家のお嬢様は、大学のバベルの会に参加するということ、です。あらゆる予想が最後の最後で覆される、ラスト1行にこだわった暗黒連作ミステリーです。

### 「僕と死神の七日間」

蘇之ー行 KADOKAWA

名前のない死神が「私は死に神。後七日で死ぬことを君に伝えるに来たの」と、「僕」に向かって突然話しかけてきた。彼女の姿は、余命一週間の人や、生きることに絶望している人にしか見ることができない。そして、特定の人にしか見られないのを良いことに、誰にも知られることなく、問題を解決していく。主人公の「僕」が彼女と一緒に生きるための目的を探していく物語である。一冊完結でページも短いのでオススメです。

### 「デッドエンドの思い出」

よしもと ばなな 文藝春秋

人の心の中にはどれだけの宝物が眠っているのだろうか——。つらくて、切なくても、時の流れのなかで、生き生きと輝いてくる一瞬を鮮やかに描いた本です。5つの短編から構成されている本で、5つとも心があたたまるとも素敵なラブストーリーです。

## 「終末のフール」

伊坂 幸太郎 集英社

世界が終わるまで残り3年という事実の中で、人々はどのように過ごすのか、何を思って生きていくのか——。この本では8人の人々が、それぞれどのように過ごしていくのを見ることができます。同じ状況だが人によって過ごし方が違うので、ひとつひとつの話を楽しむことができます。家族や友人の暖かみを感じさせてくれる作品です。とても心が穏やかになる本なので是非読んでみてください。



# 新着図書紹介

燈火 風の盆：豊田美加

告白 ある PKO 隊員の死・23 年目の真実：旗手啓介

恋のゴンドラ：東野圭吾

失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!：大野正人

ロウソクの科学：ファラデー著／三石巖訳

こども六法 単行本：山崎 聡一郎

一度読んだら絶対に忘れない日本史の教科書／世界史の教科書：山崎圭一 祝祭と予感：恩田陸

"ロウソクの科学 世界一の先生が教える超おもしろい理科：平野累次/冒険企画局著

"「ロウソクの科学」が教えてくれること：ファラデー著／白川英樹監修

こども 論語と算盤 お金と生き方の大切なことがわかる!：守屋淳

マンガ&物語で読む偉人伝 渋沢栄一 津田梅子 北里柴三郎 (新しい伝記シリーズ)：学研プラス

富と幸せを生む知恵 ドラッカーも心酔した名実業家の信条「青淵百話」：渋沢栄一

漫画版 論語と算盤：近藤たかし

日本の資本主義を作った男 渋沢栄一：TJMOOK

渋沢栄一 100 の訓言：渋澤健

渋沢栄一 「日本近代資本主義の父」の生涯：今井博昭

小説 渋沢栄一 上・下：津本陽

渋沢栄一「論語」の読み方：渋沢栄一

雨夜譚—渋沢栄一自伝：渋沢栄一

渋沢栄一——社会企業家の先駆者：島田昌和

今月は私の関連  
本が沢山入りま  
したよ・・・!  
さて、私はだれ  
でしょう?

